

# 在宅で 生きる

vol. 9

3月号

2015.3.1 Sun  
練馬区 健康福祉事業本部  
地域医療担当部地域医療課  
医療連携担当係  
TEL:03-5984-4673

## 特集 在宅療養を支える人々 シリーズ3 －介護支援専門員（ケアマネジャー）－

### ◆ 介護支援専門員（ケアマネジャー）とは

在宅療養生活は、様々な職種が連携・協力することで実現しています。そこで「在宅で生きる」では、連載シリーズとして、在宅療養を支える人々の役割とその活動について、実際に練馬区で活躍する方々に対するインタビューを通して、区民の皆様にご紹介しております。

第3回目は「介護支援専門員」（以下「ケアマネジャー」）についてご紹介します。

今回は、練馬区大泉地区でご活躍されている「大泉クリニック居宅介護支援事業所」の竹治正人様に、ケアマネジャーの役割とその実際について教えて頂きました。

### Q1 大泉クリニック居宅介護支援事業所で取り組んでいる居宅介護支援サービス（ケアマネジャーの仕事内容）について、その概要を教えてくださいませんか？

ケアマネジャーは、「要支援」や「要介護」の認定を受けた方が、適切な介護サービスを受けたり社会資源を有効活用できるようにするために介護サービス計画（ケアプラン）を作成します。

また、必要なサービスが受けられるよう、サービス事業者を手配したり、介護認定申請の代行を行います。

私の職場に併設している大泉クリニックは、いわゆる街の診療所なので、診察にこられた方の在宅生活の相談に乗って、介護保険サービスに繋いだりすることもあります。



## Q2 ケアマネジャーが、ケアプランを作成する事によって、利用者さんにどのようなメリットがあるのか、具体的に教えて頂けますか？

ケアマネジャーは常に「その方が自分らしく豊かな生活を送るために」を考えて支援しています。必要な介護保険サービスが受けられるようにサービス事業者の手配や申請代行はもとより、介護保険サービスに限らず、練馬区独自のサービスや給付、ボランティアや地域の活動への参加、そして在宅生活が継続できるように訪問診療や居宅療養管理指導（※）もケアプランに盛り込みます。利用者さんがケアマネジャーを利用する一番のメリットは、ご自身に必要な医療・介護の地域資源の紹介を受け、在宅療養生活を送る環境が整うことだと思います。

※「居宅療養管理指導」とは、医師、歯科医師、薬剤師、栄養士などが自宅に訪問し、療養に必要な管理指導を行うサービスです。

## Q3 現在進めている在宅療養サービス提供者間での多職種連携が、利用者さんの生活や、竹治さんが提供するサービスに対してどのようなメリットがあるのか、ケアマネジャーの立場から教えて頂けますか？



ケアマネジャーは他職種と連携することで初めて仕事をすることができると思います。利用者さんや家族の代弁機能を果たすためにも他職種との連携は必要です。特に在宅療養で言えば、医療や看護と連携することで、医療的ニーズを医療職、看護職に託すことができます。その上で全体的にコーディネートを行うのが居宅介護支援サービスの本来の仕事だと思います。

医療の大きな目標は疾患の治癒、障害の改善または悪化の防止です。そのため、利用者さんの生活よりも医療的目標を優先する場合もあると思います。医療的目的と利用者さんの生活におけるギャップはないか、ケアマネジャーはそのことが確認できる立場にあると思っています。

## Q4 ケアマネジャーとしてのやりがいや、今後の抱負について教えて頂けますか？

ケアマネジャーとして、利用者さんが長年暮らし慣れた地域で、その人らしい生活を送るお手伝いができることにやりがいや喜びを感じます。疾病や身体の障害があっても、自宅で変わりなく生活を送れることは幸せなことだと思います。高齢になって、お風呂で上手く身体を洗えない、足が弱って買い物に行けない、料理を作ることが大変など、ほんの少しのことで人は生活を送ることが大変になります。しかし、医療・介護サービスを取り入れることで、利用者さんの生活は変化しますし、その家族の生活も変わります。

私に関わることで、利用者さんの生活状態が良い方向に変わっていくということは、ケアマネジャーの仕事の醍醐味だと感じています。